

小中学校の空調整備を

答 平成30年度から32年度完了で計画変更する



宮城 寛 議員

問 小中学校の空調の整備について第三回定例会（9月）で町長は教育委員会と相談しながら進めていく旨の答弁があった。進捗はどうなっているか。全ての教室に整備していくべきではないか。

教育長 平成30年度に小中学校の空調設備設計を入れる。小中学校は31年度、32年度と、幼稚園は30年度から32年度にかけて各教室に空調設備を導入する。

問 町長も教育委員会が整備していくことに財政もバックアップするということか。

町長 教育委員会と連携しながら、子どもたちが学びやすい環境を作るため進める。

断熱フィルムの効果は

問 断熱フィルムを庁舎等に貼っているがその効果はどうか。

副町長 フィルムの施工箇所と未施工箇所とで27・5度と30・1度の差を確認した。

問 断熱フィルムが効果があるとするば、学校のガラスについてもすべてに施工の必要があるのではないか。

学校教育課長 断熱フィルムは全教室には施工されていない。

イベント開催時の駐車場の確保を

問 陸上競技場の駐車場はイベント開催時に招待用で一般は入れない。今後多くの町民参加を実現するために駐車場確保をどうするのか。



陸上競技場の駐車場の普段の様子

教育長 多くの町民が参加できるように招待用駐車場の見直しや空きがあれば案内するなどして駐車場の確保に取り組んで行く。

待機児童解消は

問 11月に認可保育園の募集を締め切っているが、次年度の待機児童数はどれくらいか。

こども課長 ただ今精査中であるが、12月1日時点で229人である。

問 待機児童は平成30年度内で解消できるのか。

こども課長 認可外を認可園にするなど、その他含めて120人の定員は確保する予定である。今年度、子ども子育て支援計画を見直す準備をしている。

新たに平成32年度を目標に待機児童解消に取り組んでいく。